

## 患者さまへのお知らせ・お願い

### ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 10月30日(月) 川田京子さん・福田佳子さん(うたとピアノの演奏会)
- ◆ 11月8日(水) 新澤隆志さん(ピアノ演奏会)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

### 公開講座のお知らせ

演題: 『人がたおれた! さあどうする! ~町中で行う心肺蘇生: AEDの使い方~』  
『メタボリックシンドローム ~正しい理解と対策~』

演者: 脳神経外科 助教授 池田尚人  
内科 教授 辻 正富

日時: 平成18年10月28日(土) 13:30~15:00 15:00~16:30

場所: 西棟4階診療放射線専門学校講堂

定員: 100名(定員となり次第受付終了となります)

応募方法: 往復はがきもしくはEメールにて、お申込みください。

確認事項: 住所、氏名、電話番号、年齢、の4項目。

注意事項: 往復はがきの方は、返信面にご住所のご記入をお忘れなくお願いいたします。  
メールの方は、必ず件名に「秋季公開講座希望」と記載してください。  
1枚のおはがき・1通のEメールで2つの演題のお申込みとなります。

締切日: 平成18年10月23日(月)【必着】

あて先: 〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 昭和大学横浜市北部病院公開講座担当  
Eメール hokubu@ofc.showa-u.ac.jp

お問合せ先: 昭和大学横浜市北部病院公開講座担当 045-949-7000(代表)

応募者多数の場合、抽選となります。(先着順ではございません)。結果ははがき、Eメールにてご連絡いたします。

## 患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。( = 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
担当医一覧の更新について	『ホームページ「担当医一覧」が更新されていない。また、医師が退職異動になっているにもかかわらず、外来担当医として載っている例が多々ある』とのご意見をいただきました。 定期的にホームページや外来受付横の掲示板の内容を更新していますが、徹底されておらず更新されていない部分がありました。大変失礼致しました。ホームページについては原則毎月情報を更新し、変更の無い診療科についても毎月更新時期に変更がないことが分かるように、日時を更新する等の管理の徹底を致します。また、外来の掲示物についても同様に対応させていただきます。

### 編集後記

体を動かし易い季節となりましたが皆様如何お過ごしでしょうか? 毎年秋には様々なｽﾎｰｯ大会が各地で開催されています。特に参加者数が多いのはマラソン大会です。数年前から健康のために私も始めました。時間と場所を選ばずいつでも練習できる手軽なｽﾎｰｯです。最近では走行距離も長くなり様々なマラソン大会に出場するようになりました。先日参加した高尾山森林さわやかマラソン大会(さわやかとは名ばかりで、きつい登山コースでしたが)では、最高齢73歳の参加者をはじめ50歳以上層の参加も目立ちました。現在、国内では年間48万人が癌に罹患していますが、厚生省の研究班の推計によると2015年には89万人が癌に罹患すると予測しています。癌予防のために推奨されるのは、1.禁煙 2.節酒 3.適度な運動 4.バランスの良い食事です。継続可能なｽﾎｰｯを是非この季節から始めてみてはいかがでしょうか? 当院は全館禁煙となりましたので 御協力よろしくお願い致します。 広報委員会 委員 門倉 義幸

北部病院だより 第42号  
平成18年10月4日発行  
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)  
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)  
発行 昭和大学横浜市北部病院  
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1  
電話 045-949-7000(代表)  
URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/  
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

# 北部病院だより 第42号

第42号【2006/10/4 発行】

発行者: 昭和大学横浜市北部病院

### 巻頭言

『 少子化の中でNICUは 』  
こどもセンター 助教授 北澤 重孝

### イベント情報

ボランティアさんミーティング

### 医師の配属・異動・退職

### 診療統計

### 外来担当表

### 患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ  
公開講座のお知らせ

### 患者様からのご意見・ご要望



秋の風を感じるようになりましたね。

## 巻頭言

『 少子化の中でNICUは 』

NICUとは治療を必要とする新生児のための病室・病棟全体を新生児特殊治療施設と呼び、その中の集中治療管理施設部分を指します。**NICU (Neonatal Intensive Care Unit: 新生児特定集中治療室)**の略語で呼ばれています。対象は未熟性が強く呼吸や循環、消化器などの機能が不十分な、先天的な異常がある、感染や出生時の仮死により病気になったこどもたちです。小さく、弱く、よって多くの人手と機械、モニター、薬を必要とします。新生児特定集中治療室の施設基準として、常時医師が勤務しており、患者数に対しての床面積、バイオクリーンルームであることなどが求められるのもこのためです。このNICUでの医療でもっとも特徴的なものが超低出生体重児の治療です。超低出生体重児とは出生体重が1000g未満の児をいいます。超低出生体重児は1970年代に新生児医療に呼吸管理が導入されてから生存可能になってきました。このグループは1960年代の新生児死亡率90%以上から1990年代の20%以下に急激な低下を果たしました。しかし、後遺症発生は死亡率の高かった1970年代も1990年代も15%前後と大きな改善がありません。これには500g未満、24週未満の成育限界ぎりぎり超早産児が治療対象に加わったことがあります。超低出生体重児が生まれると約3ヶ月はこのNICUで集中治療を受けます。長期にわたる綿密な全身管理が行われるのが超低出生体重児医療の特徴です。



こどもセンター  
助教授  
北澤 重孝

過去半世紀、わが国の子どもの出生数は減少し続けています。平成17年は合計特殊出生率が**1.25**に減少しました。実数の出生数は平成12年までは減少傾向にありながら前年を上回る年もありました(平成9年119万人、10年120万人、11年117万人、...)。しかし平成13年以後は前年比純減少で、平成17年は前年比-4.33%と大きく下げました。一方、乳児死亡率は**2.8**(出生1000に対して、スウェーデン3.7)新生児死亡率**1.5**(スウェーデン2.5)など世界一の水準を維持しています。子どもが少なくなり、乳児死亡率が世界で最も低いわが国の新生児医療は今後縮小していくのでしょうか? いえ、現状はまったく逆なのです。低出生体重児が増加しています。平成9年から16年の7年間で総出生数は119万から111万に6.79%の減少でありながら、低出生体重児(2500g未満)は9.3万人から10.4万人に11.7%、極低出生体重児(1500g未満)は7109から8467に19.1%、超低出生体重児は2656人から3341人に25.8%増加です。これら未熟児の増加に深く関わる双子、三つ子など多胎児の出生数も増え続けています。自然双胎の発生頻度は0.6~1.0%といわれていますが、この比率(複産/出生数)は平成9年1.81%、平成16年2.26%であります。その背景には不妊治療、生殖補助医療の発達があります。他方、母親の出産年齢の高齢化もあります。年齢別出生数は20歳~40歳の母親からの出生数は平成9年から16年で出生数の減少に近い-7.66%と減り、40歳以上の母親からの出生は13239人から19289人と1.5倍に急増しています。母親の年齢と低出生体重児出生との関係は20歳~30歳では低出生体重児は7.7%、極低出生体重児0.45~0.49%、超低出生体重児0.18%~0.2%、40歳以上では低出生体重児12.0%、極低出生体重児1.47%と3倍に、超低出生体重児は0.58%と2倍以上に高くなります。さらに40歳以上は複産の割合が20歳~30歳の2倍以上であります。科学文明の急速な進歩はわが国を豊かな成熟社会に築き上げ、個人の価値観の多様性が認められるようになりました。その結果として結婚年齢の上昇と少子社会が出現するのは歴史的必然でありましょう。ひとりひとりの子どもを大切に育てたいという親のニーズ、周産期医療水準の向上とあいまってNICUのベッド数不足が今後も続くことが予想されています。

# 北部イベント

## ボランティアさんミーティング

8月21日に病棟(小児病棟・西3階病棟ほか)・外来でご活躍いただいているボランティアの皆さんと職員で、日頃の活動の中で気付いた点・感じた点について話し合う意見交換の会を開催しました。どのボランティアさんも我が事のように患者様が安心して快適に医療を受けるためには自分達に何が出来るかを熱心に話し合われました。



平成13年(開院の年)の11月に3名で外来部門からスタートとしたボランティアさんの活動。現在は小児病棟や西3階病棟、さらに緩和ケア病棟、中央棟の各フロアでワゴンを押して図書を貸し出しするブックサービスとその活動範囲も内容も大きく拡大し、メンバーも30名と大勢の方にご登録いただくまでになりました。これもひとえにボランティアさんたちの地道で誠実な活動の積み重ねの結果といえます。

当日は意見交換会終了後、日々の活動への感謝をこめて9階レストランにてささやかな懇親会を開催しました。会場では開催の辞の後、病院長より感謝状の授与が行なわれました。各現場の職員も参加して、ボランティアさんを囲む楽しそうな光景が会場のあちこちに見られました。また長く活動を続けていても、活動現場が異なるとなかなか接する機会も少ない為、ボランティアさん同士も良い交流の場となりました。

# 医師の配属・異動・退職

## 新規配属医師

10/1付【8/2~10/1】

【附属病院より】

**佐々木 康**  
(産婦人科)  
昭和大学  
産婦人科学教室より

**青木 麻梨**  
(メンタルケアC)  
昭和大学  
精神医学教室より

**岡本 典子**  
(外科)  
昭和大学  
形成外科学教室より

**成島 道昭**  
(内科)  
昭和大学藤が丘病院  
内科呼吸器科より

**常岡 俊昭**  
(メンタルケアC)  
昭和大学附属鳥山病院  
精神神経科より

**清川 翠**  
(産婦人科)  
昭和大学  
産婦人科学教室より

【他病院より】

**春日井 尚**  
(消化器C)  
岐阜大学  
昭和59年卒  
東京西徳洲会病院より

## 異動・退職医師

10/1付【7/1~10/1】

【配置転換】

工藤 由比 消化器C 救急センター

【長期出張】

笹島 圭太(消化器C) 福原 貴太郎(消化器C)

【附属病院へ】

廣畑 裕子(こどもC) 昭和大学豊洲病院へ 鈴木 紀雄(産婦人科) 昭和大学産婦人科学教室へ  
国井 健太(外科) 昭和大学形成外科学教室へ  
山本 英樹(メンタルケアC) 昭和大学藤が丘病院精神神経科へ  
小城 幸乃(メンタルケアC) 昭和大学藤が丘病院精神神経科へ

【退職】

橋本 雅彦(消化器C) 三並 敦(消化器C)  
松下 達彦(消化器C) 垣迫 健二(消化器C)

# 診療統計

2006年7・8月統計データ( )内は1日平均

診療実日数 入院...31日 外来...25日(7月) 27日(8月)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
7月	31,957人(1,278.3人)	18,701人(603.3人)	466件(15.0件)	489件(24.5件)
8月	33,498人(1,240.7人)	18,086人(583.4人)	391件(12.6件)	587件(25.5件)

# 外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。  
平成18年10月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初診)	医局員(初診)	中島宏昭(紹介初診)	中島宏昭(再診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初診)	鹿間裕介(再診)	笠原慶太(初診)	北見明彦(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)
	北見明彦(再)	笠原慶太(再)	笠原慶太(初)	医局員(初)	中神和清(再)	北見明彦(再)	笠原慶太(再)		中島宏昭(再)	中島宏昭(再)	
		鹿間裕介(再)					医局員(初)				
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子(第1,3)	請川淳一	請川淳一		里館 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員
	小林泰俊	小林泰俊	井上晴洋	井上晴洋	乾 正幸	乾 正幸	長山裕之		為我井芳郎(1)	春日井尚	木田裕之
		出口義雄	榎田博史	榎田博史	医局員	遠藤俊吾	医局員	和田祥城	池原伸直	池原伸直	里館 均
				工藤恵子		日高英二	工藤由比	工藤由比	医局員	若村邦彦	医局員
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	工藤由比	石田文生	辰川貴志子(第2,4)	榎田博史	山村冬彦	遠藤俊吾		
			医局員		岩下方影(2)			工藤進英(特診)			
循環器センター	磯村直栄	丸田一人	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		芦田和博	伊藤篤志(心臓血管外科)	医局員
			御子柴幸		大動脈外来		藤倉寿則			西巻博(第3)	
			上村 茂(先天性心疾患)						上村 茂(先天性心疾患)		
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般統合失調症)		櫻井英里子		堀 宏治(精神全般認知症)		秋元洋一(精神全般統合失調症)		吉益晴夫(精神全般記憶障害・PTSD・PT)		西岡玄太郎(精神全般うつ病)
メンタルケア(再)	板垣太郎		秋元洋一		西岡玄太郎		吉益晴夫		工藤行夫		堀 宏治
メンタルケア(再)	谷 将之		太田晴久		内田充彦		黒澤顕三		青山 洋		小城幸乃
メンタルケア(再)			医局員		伊川太郎	堀 宏治(物忘れ外来)	医局員				医局員
内科(緩和ケア)						新井一成				中村明央	
内科(23-2)	宮下耕一郎(一般内科)	山本真寛(一般内科)	中澤あい(一般内科)	宮下耕一郎(一般内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)	中澤あい(一般内科)	熊田千晶(一般内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)			衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(一般内科)	川崎仁志(内科神経)		医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	熊田千晶(一般内科)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)		三代川章雄(内科消化器)
内科(25-1)	稗田宗太郎(内科神経)		土屋静馬(一般内科)	中山文義(腎)(第1火休診)	稗田宗太郎(内科神経)		滝西安隆(一般内科)		土屋静馬(一般内科)		滝西安隆(内科一般)
内科(25-2)		井上 穂(内分泌・代謝)			木村 聡(内科・感染症)					医局員	医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)		小林功治(一般内科)	田口 進(内科消化器)				渡邊浩之(1,3)(一般内科)
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)	富田高重(第1)(内科消化器)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)
内科(25-6)	吉田典世(一般内科)	伊東友弘(内科腫瘍)		吉田典世(一般内科)	女性専門外来(予約のみ)	伊東友弘(内科腫瘍)	緒方浩顕(内科腎臓)		伊東友弘(第4休診)(内科腫瘍)		緒方浩顕(内科腎臓)
内科(25-7)			辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病・内分泌)
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成童外来	梅田 陽	乳児検診	医局員
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	フォローアップ外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3,4)	曾我恭司	アレルギー外来	京田学是	フォローアップ外来	医局員
小児科	北澤重孝		野中善治	血液内科(4)心理相談	京田学是		松岡 孝	口腔発達(2,3)心理相談	井上真理	上村茂(心臓)	医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇)医局員(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		瀧口太造		佐々木雅美		瀧口太造		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	瀧口太造		宋 寅傑		瀧口太造		鈴木佳宜	外来手術	佐々木雅美	外来手術	光線療法外来
皮膚科(再16-2)	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	鈴木佳宜	外科手術	鈴木佳宜	外科手術	佐々木雅美	外科手術	医局員
皮膚科(再16-2)	松村卓美		松村卓美				松村卓美		松村卓美		
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成	井関雅一(偶)岩波正英(3)	中村明央	岩波正英(第2,4)	中村(奇)新井・山崎(偶)
外科			福成信博		山崎智巳		木庭雄至(予約のみ)	兼坂 茂(予約のみ)	福成信博		
形成外科	大塚尚治	美容外科ヒールリク	【手術日】		鎌田理恵(偶)岡本典子(奇)		【手術日】		大塚尚治		大塚尚治(奇)岡本典子(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	【手術日】		池田尚人	(退院後外来)	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝
脳神経外科(再診)											池田尚人
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		定方博史		医局員
整形外科	川崎恵吉		石田将也		定方博史		川崎恵吉		石田将也		
産婦人科初診(12-7)	佐々木康(奇)安藤直子(偶)		高橋 諄(苅部瑞穂)		高橋 諄(御子柴/隅)		小塚和吉(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科産科(12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		佐々木康		御子柴尚郎		
産婦人科産科(12-6)	苅部瑞穂		隅 靖浩	特殊診予約のみ			安藤直子				特殊診予約のみ
産婦人科産科(12-8)	小川公一		安藤直子	特殊診予約のみ	佐々木康		高橋 諄		近藤哲郎		特殊診予約のみ
産婦人科産科(12-6)			苅部瑞穂		御子柴尚郎				栗城亜具里		
産婦人科産科(12-6)			隅 靖浩								
泌尿器科(初診11-1)	青木慶一郎	椎木(検査)予約のみ	椎木一彦		菅原 草	深澤(再診)予約のみ	井上克己	鈴木俊一(第1,3,5)	島田 誠		医局員(初再診)
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	菅原 草		青木慶一郎	青木(検査)予約のみ	椎木一彦	井上克己	丸山邦隆	丸山邦隆	丸山邦隆
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ	
眼科	井上吐州	特殊診(井上)	小池正直	特殊診(中村)	井上吐州		小池正直	特殊診(小池)	井上吐州		小池正直(奇)中村 徹(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	中村 徹	特殊診(中村)	井上吐州(奇)岡田法子(偶)
眼科	岡田法子	特殊診(岡田)	岡田法子		岡田法子	特殊診(岡田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸(初診)	腫瘍外来予約のみ	石田 良(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来寄数週予約のみ	油井健史	いびき外来予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	大嶋健三郎(再診)			レーザー外来予約のみ			門倉義幸(再診)				
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再)		柳裕一郎(再)				石田 良(再)				
耳鼻咽喉科13-5	油井健史(再診)		島本久美子(再診)			補聴器外来K予約のみ		補聴器外来N予約のみ	歯科装具		予約のみ

放射線治療の外来日は、月火木金・駒澤恵二医師です。 リハビリ科外来日は、火曜日午後：真野英寿医師です。 皮膚科 水曜日 初診外来をしばらくの間休診とさせていただきます。